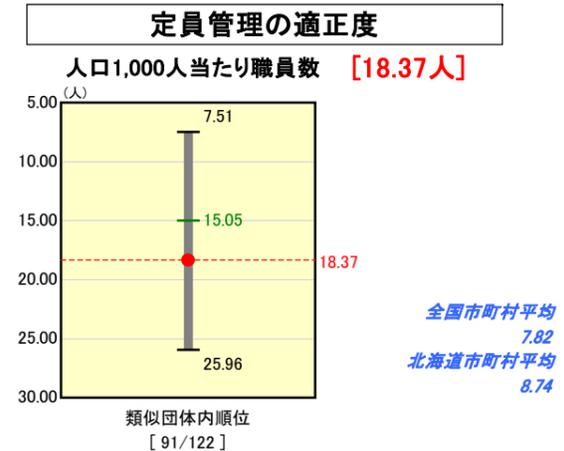
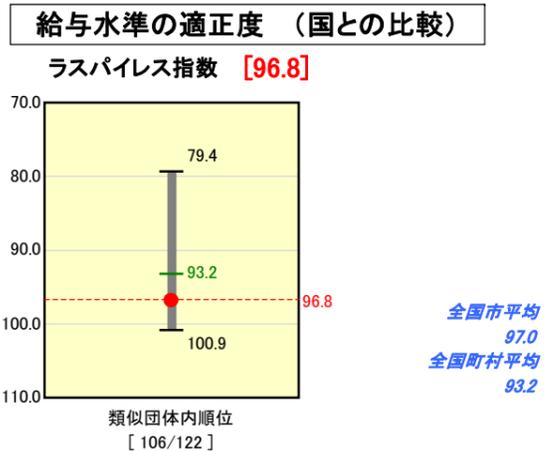
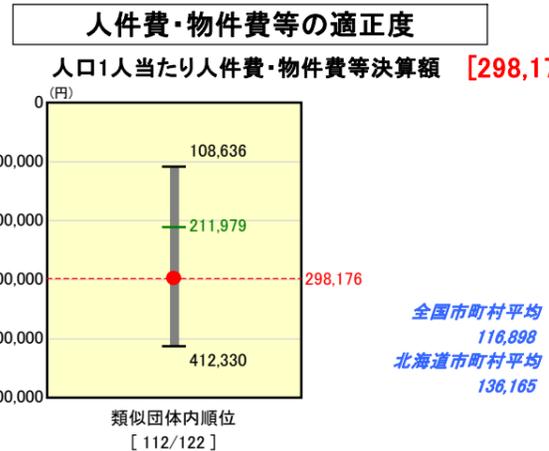
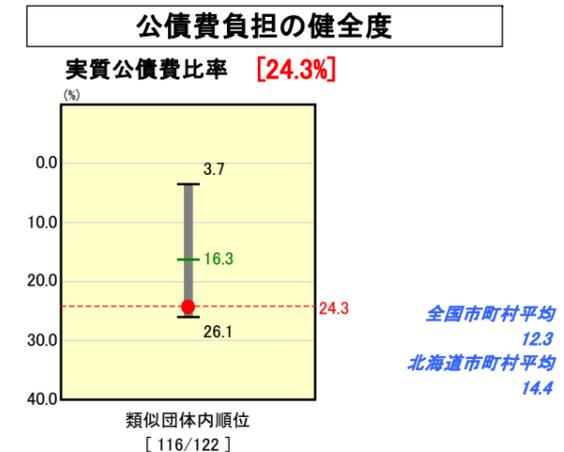
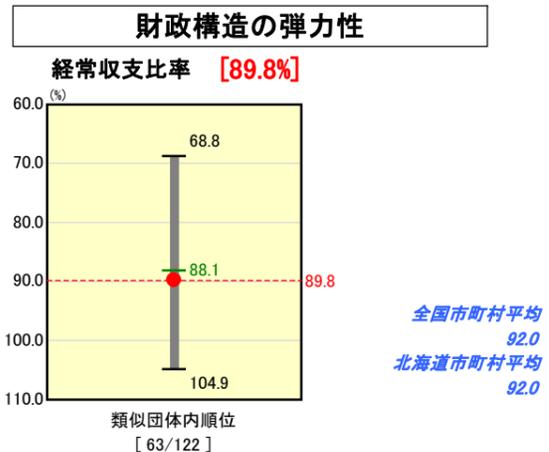
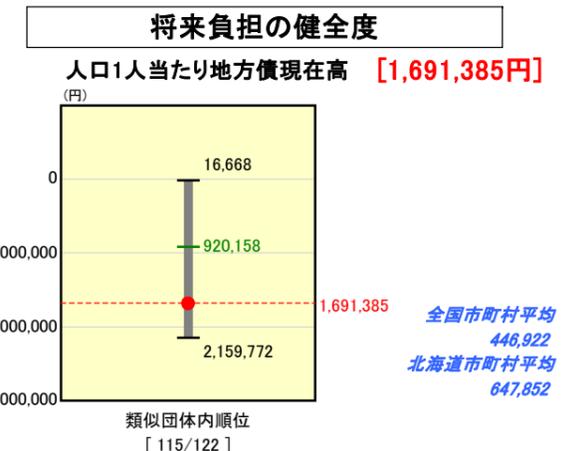
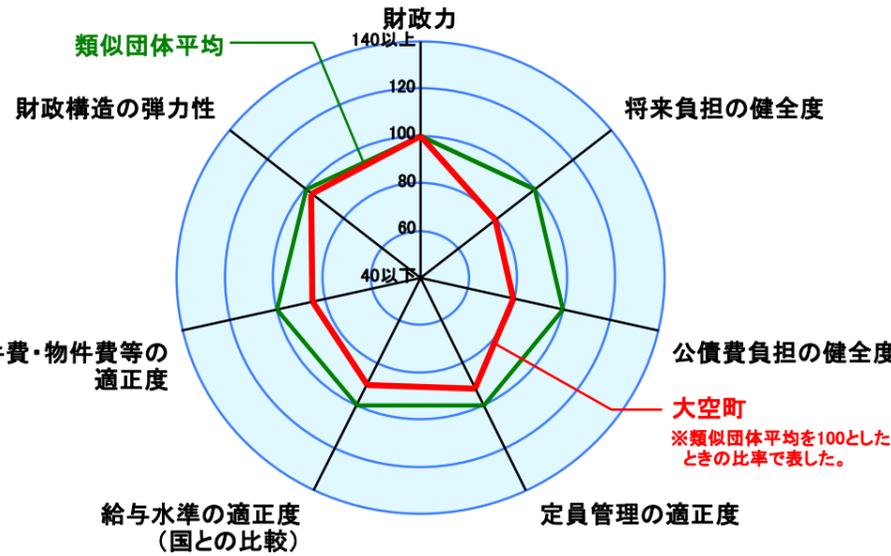
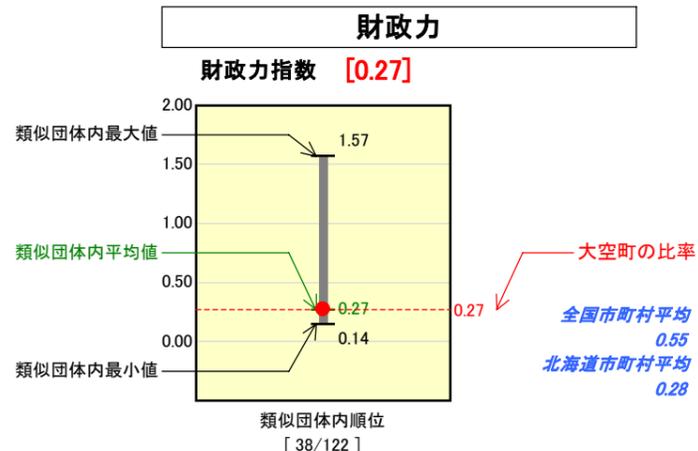


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

北海道 大空町

人口	8,438 人(H20.3.31現在)
面積	343.62 km ²
歳入総額	9,518,948 千円
歳出総額	9,445,803 千円
実質収支	73,145 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※ラスパイルズ指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数： 女満別空港関連施設の固定資産税等により類似団体平均と同じ0.27となっており、前年と同値となっている。今後とも滞納額の圧縮などさらなる徴収業務の強化に取り組む。

経常収支比率： 公債費の増加により類似団体平均を上回っている。今後とも補助費の増加等による上昇が見込まれることから、人件費の抑制や起債発行抑制による公債費の縮減、行政改革の推進により経常経費の削減に努める。

ラスパイルズ指数： 類似団体を上回り96.8となっている。平成20年度から2か年間職員給与とカットを実施しており、今後も一層の抑制に努める。

実質公債費比率： 過去の景気対策等による建設事業に係る起債の償還に伴い上昇し、類似団体を上回っているが、平成20年度以降起債償還額は減少していき見込みである。今後も、緊急度・住民ニーズを踏まえた事業の選択により起債発行額を抑制し、併せて世代間の負担の公平化と公債費負担の平準化の観点から、繰上償還や借換えを行うことにより償還額の平準化と実質公債費の抑制に努める。

人口1,000人当たり人件費・物件費等： 人件費・物件費等が類似団体平均を上回っている。人件費は合併の影響により高くなっているが、今後は合併による事務効率化や指定管理者制度導入により職員数の減少が見込まれる。物件費についても指定管理者制度の活用等により外部委託を進め、経費削減を図る。

人口1,000人当たり地方債現在高： 類似団体平均を大きく上回っている。過去に景気対策により発行した起債の償還が主な要因となっているが、今後は大空町総合計画のもと中長期的な視野に立ち、適量・適切な事業実施により新規発行債の抑制を図り、財政健全化に努める。

人口1,000人当たり職員数： 合併して間もないので類似団体平均を上回っているが、今後は合併による効果で職員数の適正化を図り、さらに事務の効率化や外部委託等により職員数の削減に努める。